

平成26年度経営計画

1. 経営方針

(1) 業務環境

1) 兵庫県の景気動向

平成 25 年度の兵庫県下の景気は、政府の経済対策及び金融対策の効果等により、大手企業を中心に幅広い業種で企業収益の改善が見られるなど、全体としては持ち直しの動きが見られた。

今後については、国内における消費税の増税による影響、原材料費の高止まりなど、先行きに不透明感はあるものの、景気の回復が確かなものとなることを見込まれる。

2) 中小企業を取り巻く環境

消費者マインドの改善や、住宅関連を中心とした受注の増加などを背景に、県内の景気は持ち直しつつあり、兵庫県下の中小企業者にも波及し始めている。

一方、大手企業ほどに回復していないなかで、海外景気の下振れやコストの上昇により、今後における企業収益悪化等の懸念がある。また、経営改善が進んでいない企業が多数存在するなど、中小企業を取り巻く環境は、依然として厳しく、先行きの不安感は拭えない状況となっている。

(2) 業務運営方針

地域経済の担い手の中心である中小企業者には、経営改善が進んでいない企業が多数存在するなど、先行きの不安感は拭えない状況となっている。

このような状況のもと、当協会は、経営努力を続ける中小企業者の事業の維持・発展を後押しする公的機関として、金融機関や各関係機関と連携した支援体制の構築に努めるとともに、迅速かつ的確な保証を提供する必要がある。

また、地域経済を支える中小企業者の活力向上を目指し、地域活性化につながる創業や新たな分野への事業展開等に対する支援を行うことが求められている。

さらに、信用補完制度が持続可能なものとなるように、保険収支の改善や経営・期中支援にかかる取組みの更なる強化を行う必要がある。

加えて、反社会的勢力を一切排除するなどコンプライアンス態勢をより一層強固なものとするのが求められている。

そのためには、役職員が信用保証協会の存在意義を再認識するとともに、機能的かつ効率的な組織運営を可能とする体制を構築し、信頼されかつ必要とされる信用保証協会の確立に努めていくことが重要である。

これらを踏まえ、平成 26 年度における業務運営方針を以下のとおりとした。

- 1) 創業や新事業展開等に対する支援を積極的に行うなど、顧客のニーズや状況に応じた保証推進に取り組み、保証利用機会の拡大を図る。
- 2) 経営改善の遅れている中小企業者の早期状況把握に努め、事業の存続や改善を促すため、経営・期中支援への取組み強化を図る。
- 3) 求償権については、効率的な回収体制を構築するとともに適切かつ有効な債権管理を図り、回収の促進に努める。
- 4) 信頼される信用保証協会を目指すため、反社会的勢力の一切の排除等役職員におけるコンプライアンス態勢の取組み強化を図る。
- 5) 組織体制を再編するとともに、業務の流れに沿った事務手続きやマニュアルの見直しを進めることにより、機能的かつ効率的な組織運営に努める。
- 6) 相談体制の充実や提案力の向上を図るなど、全役職員一丸となり、顧客満足度の向上に対する取組みに努める。

2. 重点課題

【保証部門】

- 1) 保証利用度の向上
- 2) 相談・提案機能の充実
- 3) 適正保証の推進

【期中管理部門】

- 1) 期中支援の実効性向上
- 2) 期中における相談体制の充実
- 3) 関係機関との連携強化

【回収部門】

- 1) より効率的な回収体制の構築
- 2) 効果的な回収業務の推進

【その他間接部門】

- 1) コンプライアンス態勢の強化
- 2) 経営基盤の強化
- 3) 人材の育成
- 4) 顧客満足度の向上

3. 主要業務数値の計画

平成26年度の保証承諾等の主要業務数値（見通し）は以下のとおりです

項目	金額	前年度計画比
保証承諾	3,700億円	105.7%
保証債務残高	1兆1,000億円	96.5%
代位弁済	252億円	58.6%
回収	88億円	111.4%